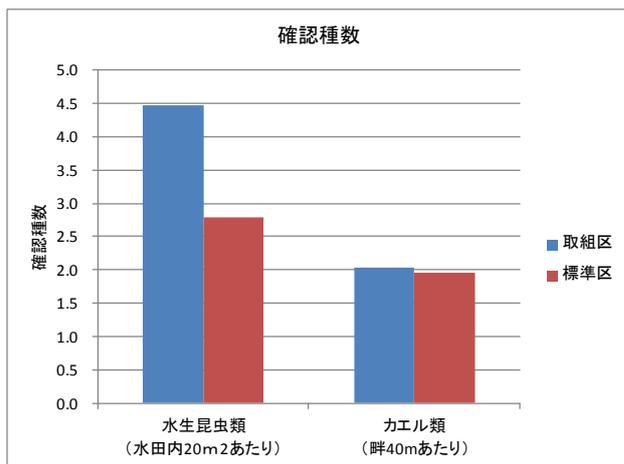


冬期湛水

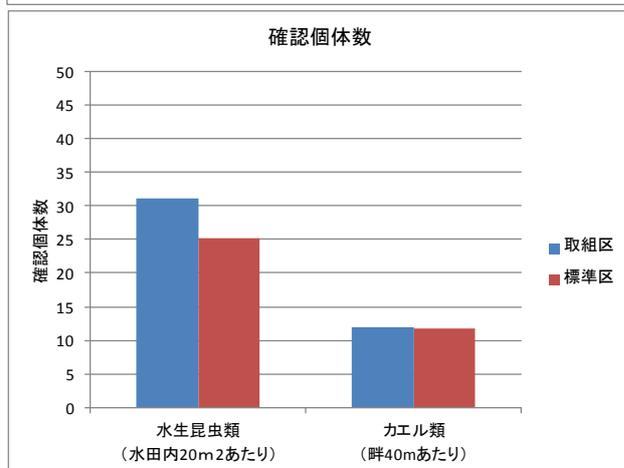
取組区と標準区の比較

調査地点数:23地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	4.5	2.8	31.2	25.3	1.25	0.80
カエル類(畔40mあたり)	2.0	2.0	12.0	11.7	0.70	0.65

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田 (大野市)



取組区の水田 (若狭町)

種名	冬季湛水		総計
	取組区	標準区	
アマガエル	98	139	237
ニホンアカガエル	7	4	11
ヤマアカガエル	3	1	4
トノサマガエル	100	88	188
ツチガエル	67	38	105
確認個体数計	275	270	545
確認種数計	5	5	5

冬季湛水の取組区で確認されたカエル類

冬期湛水の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類およびカエル類の種類及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。また、多様度指数は水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高い結果となった。一部の取組区では、標準区に比べてツチガエルが多く生息する傾向がみられた。